

平成29年11月30日
(2017年)

保護者の皆さまへ

吹田市立第六中学校
校長 上西 創司

平成29年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「平成29年度全国学力・学習状況調査」を実施し、10月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査結果の分析

【国語 A】

本校の平均正答率（本校値）は、「話す・聞く能力」「読む能力」「書く能力」において大阪府平均、全国平均よりも正答率を上回り、基礎的な分野においては充分学力の定着が見られます。「言語についての知識・理解・技能」について、大阪府は上回るものの全国程度で、漢字の分野においてばらつきがあります。

【国語 B】

国語 B の本校値は全国値を上回っています。特に「読む能力」「国語の知識・理解・技能」の分野は大きく上回っています。また、選択式や短答式の解答方法が全国値をかなり上回っています。無回答も少ないことから、発展的な分野においても学力の定着が見られます。「読書が好き」と答えている生徒が多く、読解力がついているものと思われます。

【国語における成果と今後の改善点】

作文に関しては、中学1年生からの継続した作文指導の成果が現れていると思われます。しかし、「自分から工夫して相手に分かるように伝える努力をしている」「論理的に伝えようとしている」という面で、やや積極さに欠けています。また、「国語の授業は好き」、「国語の授業の内容はよくわかる」と答えている割合が全国値より少ないので、生徒自身が個人の課題を積極性をもって取り組んでいけるような授業に改善していきたいと思います。

【数学 A】

本校の平均正答率（本校値）は、大阪府の平均および全国の平均正答率（全国値）を上回っています。領域別に見ても、昨年度全国値をやや下回っていた「資料の活用」でも全国値を上回り、全ての領域（「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」）で、全国値を上回り、基本的なことについては、よく身についていることがわかります。

【数学 B】

「数と式」、「図形」、「関数」の領域では、全国値を上回り、学習した事柄を活用する力もついていることがわかります。

一方「資料の活用」の領域については、全国値を下回り与えられた資料を分析する力が弱いことがわかります。

【数学における成果と今後の改善点】

「数学の授業は好きですか」「授業の内容はよくわかりますか」という質問に対する肯定意見の割合が、全国値を上回り、学力検査においてもよい結果として表れています。習熟度別少人数指導や授業改善の成果が現れているといえます。今後は、学んだことを実際の生活や身近な場面で活用する力をつけさせていきます。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学校生活や学習に関するもの】

「話し合い活動をよく行う」「原稿用紙2～3枚の文章を書くことは難しいとは思わない」という意見は全国値を上回り、話し合いの中で自分の考えをまとめ、文章にする力が身についていると言えます。

一方「自分で課題を立て、情報を集め整理し発表する」という項目は全国値を下回っており、教科や総合の時間で、自ら課題を見つけ、情報を集め課題を解決し、それを発表する場面をもっと多く取り入れていく必要があります。

アンケート結果より、家庭での学習時間が1時間未満である生徒の割合が全国値より多く、家庭学習を習慣づけることが大きな課題であると考えます。今後とも小学校やご家庭と連携し生徒への働きかけを進めていきます。

【自己肯定感等に関するもの】

「ものごとをやり遂げて、うれしかったことがありますか」「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対する肯定意見は、全国値をやや上回り、高い割合になっています。今後とも授業や行事を通じて、達成感や自尊感情を高めるよう取り組んでいきます。

一方で、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対する肯定意見の割合は、昨年度より高くなったものの全国値をやや下回っています。道徳・特活・総合等の時間を利用し、将来の夢等について具体的に考える取り組みを更に進めていきます。

【地域社会とのつながりに関するもの】

「地域の行事に参加していますか」という項目が全国値を下回り、地域社会に対する関心が低いことがわかります。地域の行事への参加を呼びかけたり、社会で起きていることへの関心を高め、自分の生活との関わりについて考える機会をより多く作ります。

3. 今後の取り組み

以上の結果を踏まえ、今後更に学校生活を充実させ、授業や様々な行事を通じて、自らすすんで課題解決に向かう姿勢を育んでいきたいと思います。また、学力の向上には家庭学習の定着が不可欠です。そのためにも、基本的な生活習慣を身につけるよう学校でも働きかけていきます。それぞれの家庭におかれましても、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。